

「やってみたい」を応援！プレーパークで遊ぼう！

立川市

プロジェクト実施者 冒険遊び場の会たちかわ

実施日時

令和5年 9月17日(日) 10:00～15:00

令和5年 9月18日(月・祝) 10:00～15:00

令和5年 10月29日(日) 10:00～15:00

令和5年 11月12日(日) 10:00～15:00

実施場所

砂川公園、緑町北公園、立川公園 ガニガラ広場

プロジェクト概要

いつもの公園がプレーパークに変身！

プレーパークを知っている人も、はじめましての人も、みんなが自由に思いきり遊べる場所を作り、こども達の「やってみたい！」を応援します。

イベント詳細

立川市内3か所の公園でプレーパークを開催します。

ターザンロープ、ベーゴマ、水遊び、段ボールで基地作り、9月はいかまどで火を起こす予定。たくさん遊び尽くすもよし、何もしないでのんびりするもよし。誰でも自由にのびのびと過ごせる場所にします。

プロジェクトへの想い

もっと自由に、思いきり外遊びが出来るようにしたいという想いを形にしてプレーパークを開催します。こどもたちは「やってみたい！」と挑戦する中で、ドキドキ・ワクワクが広がり、遊びを通して生きる力を育んでいきます。そのため、プレーパークはなるべく禁止事項を作らず、こどもたちの「やってみたい！」という気持ちを応援します。また、プレーパークはこども達の「遊び場」というだけではなく、みんなの居場所や心の拠り所になることを目指しています。こどもだけではなく、大人も「ドキドキ・ワクワク」を一緒に楽しめる場所。今回のプロジェクトを通して、一人でも多くの人に「遊び」の可能性を感じてほしいと願っています。



「やってみたい」を応援！プレーパークで遊ぼう！

子供の感想

- ・小学1年生：こうさくがたのしかったからまたいきたいです
- ・小学2年生：またプレーパークであそびたい！
- ・小学3年生：ターザンロープでさいしょは地面に体がついたけど二回目からはさいごまでいけたので、さいごまでチャレンジしたほうが良いなと思いました。
- ・小学3年生：たき火の手つだいをしてる時にできなかったらどうしようと思ったけどがんばってふったら火がついていい気持ちになって楽しかった。
- ・小学4年生：またここに来て、いろんな人と遊びたいです。おにごっこしたりして楽しかったから。
- ・小学5年生：とても自然を感じられてとても楽しかったです。また来てみたいと思いました。
- ・小学6年生：もっと、みんなとあそびイベントをつくればいいと思います。
- ・小学6年生：マシュマロを焼くのは、あまりできなかったの、きちょうな経けんだった。
- ・小学6年生：木ざいをつかったあそびが楽しかった。自分で作るあそびがよかった。

保護者の感想

- ・子供が自由に動き回ってしまうのでこのような催しが有難いです。小規模でも良いので続けてもらえるととても助かります。
- ・子供の居場所、遊び場所がとても有難い。
- ・2歳半になる娘がロープスライダーをやってみたいと言い、親が支えながら挑戦。なかなか上手く出来なかったけれど、娘の挑戦したいという気持ちがとても嬉しかったです。スタッフの方も怖かったら途中でやめてもいいんだよ、と優しく声掛けして下さり挑戦を見守ってくれました。普段の遊びの中で、これはまだ危ないかなと行動を制限することがありますが、今日の経験を通して子供のやりたいという気持ちをもっと尊重したいなと思いました。
- ・初めて参加しましたが、とってもとっても素敵なイベントで、遊びをおもいきり楽しめた子どもと、親も懐かしい気持ちで楽しめました！ありがとうございました。
- ・普段できない遊びがあり、大人も子供も楽しめました。赤ちゃんからお年寄りまで、障害国籍関係なく遊べるのはまさにインクルーシブで素晴らしいです！いつも親にべったりな子供も自分で考えてのびのびと遊んでいました。
- ・とても楽しい時間が過ごせたので、ぜひたくさん開催して欲しいです。
- ・ぜひ、常設プレパークを目指して頑張ってください。
- ・プレーリーダーの方や中学生のお兄さんがよく遊んでくれて楽しそうでした。公園でのびのび遊ぶ機会をいただきありがとうございました。

主催者の感想

残暑が厳しい9月から始まり、秋風が気持ちいい10月、そして真冬のような寒さの11月と3ヶ月間計4回の開催でした。名前も知らない子と鬼ごっこをしたり、かまどで火を起こしてマシュマロやウィンナーを焼いたり、自分の体より大きい段ボールでお家やロボットを作ったり、大人相手に本気で水風船をぶつけあったり…。子どもたちの楽しそうな笑い声に溢れた4日間でした。みんなの笑顔を見て、主催者である私たちもたくさん元気をいただいたと同時に、この街にプレーパークが必要だと改めて感じました。一過性のイベントとして終わらせるのではなく、毎日行ける遊び場、またみんなの居場所となるよう、今後も地域のみなさんと共に継続的に活動していきます。

